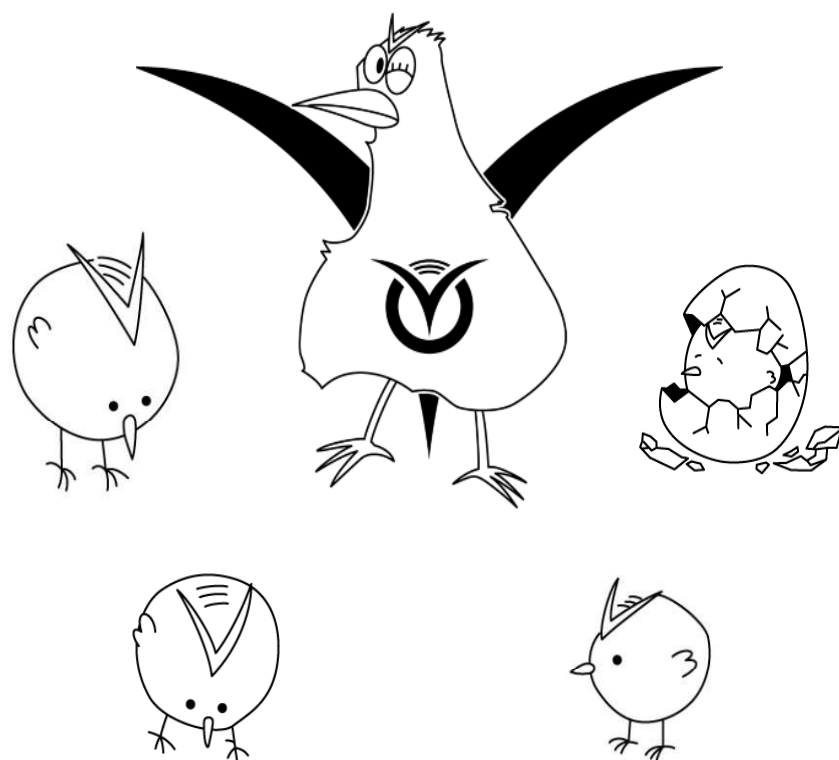


富津市次世代育成支援行動計画(後期)

いいじゃないか!ふつつ

報告書



富津市

目次

1	富津市次世代育成支援行動計画（後期）の評価	1
2	事業評価について	3
	具体的目標設定別評価	3
	（1）妊娠期・出産期	3
	（2）乳児期・幼児期	4
	（3）学齢期・思春期	6
	（4）活動期	6
	（5）育児期全般	7
3	事業実績	8
	（1）事業の基本目標、主要施策	8
	（2）個別事業実績	8
4	前期・後期の重点施策のまとめ	37

1 富津市次世代育成支援行動計画（後期）の評価

後期計画では、3つの重点目標を定め、取り組んでまいりました。重点目標ごとの評価は、次のとおりです。

重点目標1：子育てに関する経済的支援

○「子ども医療費助成」を義務教育までに拡大するなど、更なる経済的負担軽減を目標とします。

⇒平成23年4月から助成範囲を中学3年生までに拡大し、平成24年12月から現物給付（受給券）による助成を行い、子育て世帯の経済的軽減を図ってきました。

今後も「子ども医療費助成」を継続し、医療費助成を中心とした経済的支援を推進していきます。

重点目標2：子育て支援機能の充実

○母親を支援する「学童保育クラブ」について、民設民営で拡大を検討していきます。

⇒計画期間中に2学校区3クラブが開設されましたが、平成23年度をもって竹岡小学校区でクラブが廃止されています。今後は未設置学校区での開設が検討課題です。

○家庭で子どもを育てている保護者に対する支援を充実するために、現在、整備を検討している複合施設に子育て支援の拠点を併せて設置し、相談機能や保護者同士の情報交換や仲間づくりなど、多様な子育て支援機能を充実し、子連れで安心して利用できる施設として検討をしていきます。

⇒複合施設について、造成設計及び整備基本計画を基本に検討を進めましたが、財政状況を鑑みた結果、計画を先送りすることとなりました。

今後は「富津市子ども・子育て支援事業計画」の中で利用者支援事業や地域子育て支援センターの検討をしていきます。

重点目標 3：親子のコミュニケーションを促進する環境整備の充実

○地域にあるコミュニティセンターや区の集会場等を利用して、親同士など、地域住民主体の子育て支援の拠点(子育て支援センター)づくりも併せて検討していきます。
⇒公民館を活用した事業は、主任児童委員が実施している「親子遊遊ひろば」が行われていますが、コミュニティセンターなどを活用した事業は実施されていない状況です。

今後は公共施設の再配置の検討の推移とともに、「富津市子ども・子育て支援事業計画」の中で子育て支援センターの設置を検討していきます。

○遊具の更新など、児童遊園や子どもの遊び場の整備を計画的に進め、子ども同士が遊びを通して心を通わせ、親と触れ合い、楽しく安心して遊ぶことのできる公園を目指します。

⇒遊具の点検を定期的実施し、必要に応じて更新や修繕を行ってきました。

今後も点検等を実施し、安心して遊ぶことのできる公園を目指していきます。

2 事業評価について

後期計画のうち、具体的目標を設定した事業について次のとおり評価を行いました。

① 推進事業及び事業内容欄に追加、修正等がないか確認

② 平成 26 年度実績欄

平成 26 年度（平成 27 年 1 月まで）の回数・人数等の数値実績や具体的な取組みを記入

③ 後期計画の評価欄（数的目標等の具体的目標設定施策のみ）

A「達成」 B「一部達成」

C「未達成」 D「事業の終了」

④ 後期計画の評価及び今後の課題欄

事業の後期計画の評価、今後の方向性を記入

【全事業の目標達成状況】

後期計画 事業総数	うち 具体的目標 設定事業	達成状況				計画期 間内新 規事業
		達成	一部達成	未達成	事業の 終了	
155	34	15	13	4	2	8
		(44%)	(38%)	(12%)	(6%)	

◎残りの 121 事業については継続事業です。

具体的目標設定事業別評価

A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

(1) 妊娠期・出産期

事業 番号	推進事業	平成 21 年度	平成 26 年度の目標	平成 26 年度実績見 込み／事業達成状況	評価
1	妊娠届出時面接相 談、母子健康手帳の 発行	低出生体重児出生 数 22 名 妊娠 11 週以下届出 率上昇 77.6%	低出生体重児出生数 減少、妊娠 11 週以下 届出率上昇	低出生体重児出生数 18 名 妊娠 11 週以下届出率 上昇 91%	A
2	母親学級	参加者実数妊婦 46 名	参加者の増加	仕事や体調不良など参 加者が少なく、平成 26 年度から妊娠届出時に 母親学級の内容を実施。	D
3	新生児・産婦訪問	訪問件数 150 件 (第 1 子全員)	第 1 子全員	108 件 (第 1 子全員及び希望者)	A

(2) 乳児期・幼児期

事業番号	推進事業	平成 21 年度	平成 26 年度の目標	平成 26 年度実績見込み／事業達成状況	評価
10	2 か月児訪問	訪問実人数 212 人(H20)	全員	訪問実人数 162 名 対象者数 176 名	B
11	育児教室 (4 か月児・7 か月児・10 か月児・1 歳児・2 歳 6 か月)	各回参加率 50%未満(H20)	各回参加率 50%以上	4 か月児 64.6% 7 か月児 50.5% 10 か月児 46.9% 1 歳児 45.1% 2 歳 6 か月 39.2% 平成 26 年度から 2 歳 6 か月児教室を実施	B
12	離乳食教室 (5 か月(前期)・8 か月(中期)・11 か月(後期))	各回参加率 30%未満(H20)	各回参加率 30%以上	5 か月 46.4% 平成 25 年度から 8 か月・11 か月教室は 10 か月・1 歳児教室にそれぞれ 1 本化し、同時開催としている。	B
14	1 歳 6 か月児健診	受診率 89%(H20)	受診率上昇	90.5%	A
15	3 歳児健診	受診率 84%	受診率上昇	88.1%	A
16	子ども発達相談	年 8 回	年 12 回	平成 25 年度から療育等支援事業へ相談を一本化	D
18	予防接種	BCG 接種 96.5%(H20)	BCG 接種 100% 2 歳までの三種混合 90% 麻疹、風疹混合 95%	BCG 接種 79% 2 歳までの三種混合 76% 麻疹、風疹混合 80%	C
24	在宅生活支援事業	在宅介護 10 人 行動援護 1 人 重度訪問介護 0 人 重度包括支援 0 人	在宅介護 15 人 行動援護 5 人 重度訪問介護 3 人 重度包括支援 3 人	居宅介護 4 名 行動援護 2 名 重度訪問介護 0 名 重度包括支援 0 名	B
25	日中活動支援事業	児童デイサービス 31 人 短期入所 13 人 療養介護 1 人 地域活動Ⅰ型 0 人 地域活動Ⅱ型 0 人 日中一時支援 4 人	児童デイサービス 40 人 短期入所 20 人 療養介護 1 人 地域活動Ⅰ型 3 人 地域活動Ⅱ型 3 人 日中一時支援 5 人	児童発達支援 11 名 放課後等デイサービス 23 名 短期入所 4 名 療養介護 0 名 地域活動Ⅰ型 0 名 地域活動Ⅱ型 0 名 日中一時支援 11 名 224 回	B
27	相談支援事業	自立支援協議会 1 件 県指定事業 2 か所 中核地域 1 か所 福祉サポート 48 回 知的相談員 4 人 身体相談員 4 人 地域相談員 12 人	自立支援協議会 1 件 県指定事業 2 か所 中核地域 1 か所 福祉サポート 48 回 知的相談員 4 人 身体相談員 4 人 地域相談員 13 人	総合支援協議会 1 件 県指定事業 1 か所 中核地域 1 か所 福祉サポート →療育等支援事業へ 知的相談員 3 人 身体相談員 2 人 地域相談員 10 人	B

事業番号	推進事業	平成 21 年度	平成 26 年度の目標	平成 26 年度実績見込み／事業達成状況	評価
28	社会参加促進事業	補装具 17 件 日常生活用具 5 件 移動支援 5 人 コミュニケーション 1 件	補装具 17 件 日常生活用具 5 件 移動支援 7 人 コミュニケーション 2 件	補装具 5 名 7 件 日常生活用具 5 名 10 件 移動支援事業 5 名 167 回 意思疎通 0 件 (平成 26 年度から、コミュニケーション支援事業から意思疎通支援事業へ事業名の変更)	B
29	療育等支援事業 〈平成 23 年度新規事業〉	平成 23 年度実績 個別療育 29 人 保育所等 81 回	年間 言語 48 回 (市役所 24 回：巡回 24 回) 療育 48 回 (市役所 24 回：巡回 24 回)	年間 言語 38 回 (市役所 21 回：巡回 17 回) 療育 76 回 (市役所 57 回：巡回 19 回)	A
30	発達障がい児ペアレントワークショップ 〈平成 23 年度新規事業〉	平成 23 年度実績 1 回 参加者 20 人	毎年 2 回開催 参加者 40 人	年 1 回(全 5 回) 7 名 フォローアップ講座(全 2 回) 7 名	A
31	障がい児を育てる地域の体制整備事業 〈平成 23 年度新規事業〉	平成 23 年度実績 研修会 2 回 参加者 72 人 交流会 5 回 参加者 30 人 ライフサポートファイル 1,200 冊作成	研修会 2 回/年 交流会 1 回～2 回/毎月	勉強会 1 回 13 名 音楽交流会 1 回 19 名 交流会 8 回 104 名	B
45	保育所(園)・幼稚園・小学校との連携	一部実施	実施	特別教育推進チーム等の参加、保育士による学校訪問を実施。	A
52	夜間保育事業	未実施	検討	ニーズが見込まれないため検討に至っていない。	C
61	子育て支援事業 「おやこ遊遊ひろば」	月 2 回参加者数 延 646 人	月 2 回 延 800 人	月 2 回 延 300 名	B
65	ファミリーサポートセンター	未実施	設置検討	子ども・子育て支援事業計画策定の中で検討を行った。	B
73	複合施設の整備	整備基本計画策定	具体化	財政状況を鑑みて、計画を先送りする。	C
78	児童手当 (子ども手当)	実施	拡大	子ども手当を経て、児童手当として中学 3 年生まで支給	A
79	乳幼児医療 (子ども医療費助成)	実施	拡大	平成 23 年 4 月から助成範囲を中学 3 年生までに拡大	A
85	児童扶養手当	実施	拡大	平成 22 年度から支給対象を父子家庭へ拡大	A

(3) 学齡期・思春期

事業番号	推進事業	平成 21 年度	平成 26 年度の目標	平成 26 年度実績見込み／事業達成状況	評価
92	外国語指導助手 (ALT)	指導助手 3 人	指導助手 4 人へ拡大	3 人の A L T の雇用形態を委託から派遣へと切り替えて雇用した。教職員との連携もより深まり、小学校での外国語活動・中学校の英語教育で有効活用された。	B
101	小中学校校舎等施設耐震化整備事業	耐震診断 12 校 24 棟 補強設計 4 校 6 棟 補強工事 3 校 4 棟	事業終了	平成 25 年度で事業終了	A
117	放課後児童健全育成事業 (学童保育所)	5 か所 大貫小学校区 飯野小学校区 青堀小学校区 竹岡小学校区 富津保育園	拡大	5 学校区 7 団体 (内補助金交付 6 クラブ) 青堀小学校区 3 クラブ 富津小学校区 飯野小学校区 大貫小学校区 佐貴小学校区 在籍児童数 150 名	B

(4) 活動期

事業番号	推進事業	平成 21 年度	平成 26 年度の目標	平成 26 年度実績見込み／事業達成状況	評価
129	「いいじゃないか！ふつつ」推進員	198 人	拡大	推進員数 263 名	A
130	子どもに関する窓口の円滑化の推進	未実施	整備	平成 24 年度から子育て支援課へ課名を改め、健康づくり課と同じフロアーに配置変更し、市民の利便性の向上を図った。	A

(5) 育児期全般

事業 番号	推進事業	平成 21 年度	平成 26 年度の目標	平成 26 年度実績見 込み／事業達成状況	評価
134	土地区画整理事業 (青木土地区画整理組 合施行)	工事完了	事業終了	平成 26 年 3 月 14 日に 組合解散認可が承認、平 成 26 年 8 月 11 日に清 算終了が承認され事業 終了となった。	A
159	両立支援制度の普及	未実施	実施	毎年 11 月の「家族の日」 「家族の週間」に合わせ てホームページでの広 報を実施。	B
161	子育て情報誌の制作	未実施	実施	平成 24 年度子育て支援 ガイドの発行、平成 25 年度子育て応援サイト 「イクトモ」を官民協働 事業により構築。	A
166	「母子家庭及び寡婦 自立促進計画」の策定	未策定	策定	独自計画を策定、実行で きる体制が整っていな いため、策定に至ってい ない。	C

3 事業実績

(1) 事業の基本目標、主要施策

- I 妊娠期・出産期 あかちゃんって、いいじゃないか！～子育てスタートの安心づくり～
 - 1 妊産婦・新生児の健康支援
 - 2 “親”への準備の支援
 - 3 妊娠期及び小児医療の充実
- II 乳児期・幼児期 大きくなるって、いいじゃないか！～親子の成長の共感づくり～
 - 1 子どもの健康支援
 - 2 障がい児支援の充実
 - 3 親子の成長への応援
 - 4 子育てと就労との両立支援
 - 5 地域における子育て支援の充実
 - 6 児童虐待防止対策の推進
 - 7 生活設計の支援
- III 学齢期・思春期 がんばるって、いいじゃないか～子どもの生きる力づくり～
 - 1 生きる力を育む学校教育の推進
 - 2 健康に関する知識の習得
 - 3 長期欠席・不登校や学習障害児等への支援
 - 4 社会と学校との連携の推進
 - 5 子どもの居場所づくりの拡充
- IV 活動期 つながるって、いいじゃないか！～世代・地域とつながる心づくり～
 - 1 地域とつながる活動の推進
 - 2 不妊治療対策の推進
 - 3 生活基盤の確立支援
- V 育児期全般 ホットするって、いいじゃないか！～“安心温度”の高いまちづくり～
 - 1 住環境の向上
 - 2 地域安全の充実
 - 3 子育て環境の充実
 - 4 ひとり親家庭の支援

(2) 個別事業実績

155の個別事業実績は、次のとおりです。

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事業	事 業 内 容	平 成 21 年 度 の 状 況	平 成 26 年 度 目 標	平 成 26 年 度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
I	1	1	妊娠届出時面接相談、 母子健康手帳の発行	母子の健康管理のため、健診や予防接種記録を含め妊娠・出産・育児に関する記録をする手帳を交付する。	低出生体重児出生数 22名 妊娠11週以内届出率上昇 77.6%	低出生体重児出生数減少、 妊娠11週以内届出率上昇	低出生体重児出生数 18名 妊娠11週以内届出率上昇 91%	A	妊娠中の母体管理と胎児の発育について、母親学級の内容の話をした。妊婦の体の条件に合わせ、今後も個別性をふまえて保健指導を行っていく。	健康づくり課	
I	1	2	母親学級	妊娠中の母体管理と栄養管理、胎児の発育についての学習講座を開催する。	参加者実数妊婦 46名	参加者の増加	仕事や体調不良など参加者が少なく、平成26年度に中止し、 妊娠届出時に母親学級の内容を実施した。	D	妊娠中の母体管理と胎児の発育について、妊娠届出時に母親学級の内容の話をした。妊婦の体の条件に合わせ、個別性をふまえて面接してきた。今後も妊娠届出時に保健指導を行っていく。	健康づくり課	
I	1	3	新生児・産婦訪問	母子共に子育ての不安定な時期である生後28日以内の新生児・産婦へ助産師・保健師が訪問する。	訪問件数 150件 (第1子全員)	第1子と希望者	108件	A	育児に慣れない母の育児支援や体重増加や発達に心配のあるケースに助言指導を行っていく。	健康づくり課	
I	1	4	乳幼児相談	訪問、教室、健診等の事後フォローとして、子育ての相談に応じる。また随時面接や電話にも応じる。	随時受付	随時受付	約500件		保護者の悩みや不安に対し、 子どもの発育発達を知り、 子育ての環境を整えられるよう、 育児能力を高める支援を行っていく。	健康づくり課	
I	2	5	マタニティ講座	① 出産を控えた親が、保育所で実際におむつ替え、授乳、離乳食など乳幼児の一日を保育士と一緒に観察・体験する。 ② お母さん達との交流の場とし、仲間づくりを手助けする。 ③ 栄養士による栄養教室・離乳食の作り方等を講習する。	年2回	継続	公立保育所 マタニティー&子育てミニ講座 2回 大人16名 子ども19名		公立保育所 マタニティの方の参加が少ないため、参加者拡大が今後の課題である。 和光保育園 地域子育て支援センターにおいて、保健師や栄養士などと一緒に講座を企画していきたい。しかし、周知方法などに課題がある。必須の事業として継続していく。	子育て支援課	私立保育園
I	3	6	救急急病医療事業 (君津郡市広域市町村 圏事務組合)	夜間緊急の場合でも安心して医療が受けられるように診療所を開設する。	実施	継続	継続して事業を行った。 (午後8時～午後11時)		今後も事業を継続していく。	健康づくり課	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推進 事業	事業 内容	平成 21 年度 の 状況	平成 26 年度 目 標	平成 26 年度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
I	3	7	休日在宅当番医事業	休日及び年末年始における急病患者の在宅当番医を開設し、広報等で周知する。	実施	継続	受診者数 1,972名	/	今後も事業を継続していく。	健康づくり課	
I	3	8	妊婦・乳児健診費用の助成	妊娠期（14回分）・乳児期（3～6ヶ月・9～11ヶ月）の健診費用を助成する。	実施	継続	妊婦健診 延2,186名 乳児健診 延 261名	/	今後も事業を継続していく。	健康づくり課	
I	3	9	かかりつけ医の普及	かかりつけ医の利点がかかる情報を発信する。	実施	継続	母子手帳等に記載し、発信している。	/	今後も事業を継続していく。	健康づくり課	
II	1	10	2か月児訪問	2ヶ月児全員に保健師が訪問する。	H20 訪問実人数 212人	全員	対象者数 176名 訪問実人数 162名(92%)	B	健康の保持増進のために、保護者が子どもの発育発達を知り、子育ての環境を整えられるよう、育児能力を高める支援を行っていく。	健康づくり課	
II	1	11	育児教室 (4か月児・7か月児・10か月児・1歳児・2歳6か月)	発達の節目の時期に、成長・発達の経過、食事、虫歯予防を学ぶ教室を開催する。	H20 各回参加率50%未満	各回参加率50%以上	4か月児 113/175 64.6% 7か月児 93/183 50.5% 10か月児 83/182 46.9% 1歳児 82/182 45.1% 2歳6か月児 83/212 39.2% 平成26年度から2歳6か月児教室を始めた。	B	健康の保持増進のために、保護者が子どもの発育発達を知り、子育ての環境を整えられるよう、育児能力を高める支援を行っていく。	健康づくり課	
II	1	12	離乳食教室 (5か月(前期)・8か月(中期)・11か月(後期))	月齢にあった食事についての学習と食材の使い方や作り方等を実習する。	H20 各回参加率30%未満	各回参加率30%以上	5か月 85/183 46.4%	B	初めての離乳食作りをわかりやすく実践で紹介し、その後は各教室で離乳食の学習を取り入れ支援を行っていく。	健康づくり課	
II	1	13	乳幼児栄養相談	育児教室（各回）等の事後フォローとして随時電話や個別相談を実施する。	随時受付	随時受付	38名	/	子どもの発育発達に見合った食形態、食環境について栄養指導を行っていく。	健康づくり課	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事業	事 業 内 容	平成 21 年 度 の 状 況	平成 26 年 度 目 標	平成 26 年 度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅱ	1	14	1歳6か月児健診	計測・診察（内科・歯科）・相談（発達・栄養）を実施し、子どもの発育・発達を養育者と確認する。	H20 受診率89%	受診率上昇	90.5%	A	健康の保持増進のために、保護者が子どもの発育発達を知り、子育ての環境を整えられるよう、育児能力を高める支援を行っていく。	健康づくり課	
Ⅱ	1	15	3歳児健診	計測・診察（内科・歯科）・検査（尿・視力・聴力）・相談（発達・栄養）を実施し、子どもの発育・発達を養育者と確認する。	受診率84%	受診率上昇	88.1%	A	健康の保持増進のために、保護者が子どもの発育発達を知り、子育ての環境を整えられるよう、育児能力を高める支援を行っていく。	健康づくり課	
Ⅱ	1	16	子ども発達相談	1歳6ヶ月児健診・3歳児健診後に発達相談を行う。	年8回	年12回	H25年度から療育等支援事業へ相談を一本化した。	D	療育等支援事業により相談を実施していく。	健康づくり課	
Ⅱ	1	17	食育事業 （児童ふれあい交流促進事業「親と子の食事セミナー事業」）	健全な食環境を通じた家族の団らんの大切さや食事の楽しさ、子どもの栄養改善、食を通じた心の健全育成を学ぶため、食事に関する講習会・実習を行い、親子・親同士の交流を図る。	マタニティ講座 3回 親子教室 3回 肥満相談 4回 子育て支援講座 1回	継続	子育て支援課 保護者対象 1回（食に関する講座13名） 園児対象 21回（食べ物教室） 青垣保育園 すくすく料理教室 21組 ベヒーレストラン 19組 富津保育園 親子でカレーライス作り 90名 和光保育園 保育参加月間において、保育園給食を子どもと一緒に食べる。また、地域子育て支援センター利用親子に離乳食について、臨時保育室見学を受け入れる。市内一斉の公開保育で希望者には試食を提供する。 大貫保育園 親子教室において、7月に親子ホットケーキ作りを実施し、食事に関する講習会・実習を行い、親子・親同士の交流を図った。 参加者 大人15名、子ども10名		今後も事業を継続していく。	子育て支援課	私立保育園
Ⅱ	1	18	予防接種	感染症を予防するため、予防接種を行う。	H20 BCG接種 96.5%	BCG接種 100% 2歳までの三種混合 90% 麻疹、風疹混合95%	BCG接種 79% 2歳までの三種混合76% 麻疹、風疹混合80%	C	感染症を予防するため、予防接種を推奨していく。	健康づくり課	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事業	事業 内容	平成 21 年度 の 状況	平成 26 年度 目 標	平成 26 年度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅱ	1	19	早期療育育児支援のための連携体制の充実	子ども一人ひとりの発達状態に応じて、必要な育児支援を早期から継続して行えるように、保健・医療・福祉をはじめ保育所（園）や幼稚園との連携体制を充実する。	実施	充実	サポートが必要な子どもについて、各機関と情報交換を密に行い、療育相談等につなげた。	/	今後も事業を継続していく。	子育て支援課	健康づくり課 社会福祉課 保育所（園） 学校教育課
Ⅱ	2	20	幼児ことばの相談室	少しでも早く、ことばの訓練をすれば改善が見込まれる就学前の幼児を対象に、通所で訓練する機会を与える事業を実施する。	相談会を年2回実施	継続	7月、12月の2回実施。計12名の相談を受けた。	/	相談件数が増加傾向にあるため、相談に対応できる体制を整えていく。	教育センター	社会福祉課
Ⅱ	2	21	障がい児保育事業	集団での保育可能な障がい児の保育を健常児と共に実施し、相互の社会性の向上を図る。	実施施設数 10か所	継続	公立保育所 障がい者手帳所持者1名 富津保育園 ADHD1名、自閉症1名 和光保育園 発達障がい児3名、下肢運動機能障害児1名 大貫保育園 集団で保育可能な障がい児の保育を健常児と共に実施した。	/	和光保育園 入園希望者を積極的に受け入れ、共に育つ保育を今後も継続する。就学時の相談も行政と情報交換をしながら、保護者への支援や学校とのパイプ役を担っていく。	子育て支援課	
Ⅱ	2	22	保育所への施設支援一般指導事業	県委託のコーディネーター及び指導員による療育技術指導を行い、障がい児の入所している保育所職員の資質の向上を図る。	実施	継続	君津特別支援学校コーディネーターに依頼し、全保育所（園）と幼稚園への巡回訪問を実施した。また、社会福祉課が実施している療育相談等も活用し、児童の支援を行った。	/	今後も巡回訪問を継続し、職員の資質向上を図っていく。	子育て支援課	
Ⅱ	2	23	幼稚園での障がい児受入れ	集団での保育可能な障がい児の保育を健常児と共に実施し、相互の社会性の向上を図る。	実施	継続	明澄幼稚園 該当者なし みなと幼稚園 受け入れは可能だったが希望者がいなかった。	/	希望があれば受け入れ検討をする。	私立幼稚園	
Ⅱ	2	24	在宅生活支援事業	障害者自立支援法に基づく在宅でのサービス（居宅介護・行動援護・重度訪問介護・重度障がい者等包括支援）の利用促進を図る。	在宅介護 10人 行動援護 1人 重度訪問介護 0人 重度包括支援 0人	在宅介護 15人 行動援護5人 重度訪問介護3人 重度包括支援3人	居宅介護 4名 行動援護 2名 重度訪問介護 0名 重度包括支援 0名	B	各制度の周知を図り、今後も事業を継続していく。	社会福祉課	

【後期計画評価】・・・A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事業	事 業 内 容	平 成 21 年 度 の 状 況	平 成 26 年 度 目 標	平 成 26 年 度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅱ	2	25	日中活動支援事業	障害者自立支援法に基づく日中活動サービス（児童デイサービス・短期入所・療養介護）、地域生活支援事業に基づく（地域活動支援センターⅠ型及びⅡ型）重度心身障がい児通園施設・肢体不自由児通園施設の利用促進を図り、障がい児の日中における場を確保する。	児童デイサービス 31人 短期入所 13人 療養介護 1人 地域活動Ⅰ型 0人 地域活動Ⅱ型 0人 日中一時支援 4人	児童デイサービス40人 短期入所20人 療養介護1人 地域活動Ⅰ型3人 地域活動Ⅱ型3人 日中一時支援5人	児童発達支援 11名 放課後等デイサービス 23名 短期入所 4名 療養介護 0名 地域活動Ⅰ型 0名 地域活動Ⅱ型 0名 日中一時支援 11名 224回	B	各制度の周知を図り、今後も事業を継続していく。	社会福祉課	
Ⅱ	2	26	施設入所支援事業	障がい児施設の施設入所支援を行う。	新規	継続	児童相談所担当である。		在宅生活が困難な児童の施設等への入所支援を行っている。	社会福祉課	君津児童相談所
Ⅱ	2	27	相談支援事業	地域自立支援協議会を設置するとともに、千葉県指定相談支援事業所への相談業務の委託、県が設置する中核地域生活支援センター、福祉サポートちばサテライト事業、身体障がい者・知的障がい者相談員・地域相談員の配置等障がい児に係る相談事業を実施する。	自立支援協議会 1件 県指定事業 2か所 中核地域 1か所 福祉サポート 48回 知的相談員 4人 身体相談員 4人 地域相談員 12人	自立支援協議会 1件 県指定事業2か所 中核地域 1か所 福祉サポート48回 知的相談員4人 身体相談員4人 地域相談員 13人	総合支援協議会1件 県指定事業1か所 中核地域1か所 福祉サポート→療育等支援事業へ 知的相談員3人 身体相談員2人 地域相談員10人	B	各制度の周知を図り、今後も事業を継続していく。	社会福祉課	
Ⅱ	2	28	社会参加促進事業	障害者自立支援法に基づく補装具支給事業、地域生活支援事業に基づく日常生活用具給付等事業、移動支援事業、コミュニケーション事業等を実施し、障がい児の社会参加の促進を図る。	補装具 17件 日常生活用具 5件 移動支援 5人 コミュニケーション 1件	補装具 17件 日常生活用具5件 移動支援7人 コミュニケーション2件	補装具 5名 7件 日常生活用具 5名 10件 移動支援事業 5名 167回 意思疎通 0件 (H26年度から、コミュニケーション支援事業から意思疎通支援事業へ事業名の変更)	B	障がい児が社会参加できるよう各制度の周知を図り、今後も事業を継続していく。	社会福祉課	
Ⅱ	2	29	療育等支援事業	<平成23年度新規事業> 平成22年度までは、千葉県の事業として福祉サポートちばの名称で行っていたが、23年度から市の単独事業として実施。 袖ヶ浦福祉センターに委託し、臨床心理士と言語聴覚士により、毎週木曜日に市役所内及び保育所（園）、幼稚園に巡回し、発達障害児に対する療育や言語の指導を実施する。	平成23年度実績 個別療育 29人 保育所等 81回	年間 言語 48回 （市役所24回：巡回24回） 療育 48回 （市役所24回：巡回24回）	年間 言語 38回 （市役所21回：巡回17回） 療育 76回 （市役所57回：巡回19回）	A	必要な情報提供や助言などの援助等を継続的に実施していく。	社会福祉課	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推進 事業	事業 内容	平成 21 年度 の状 況	平成 26 年度 目 標	平成 26 年度 実 績見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅱ	2	30	発達障がい児ペアレントワークショップ	〈平成23年度新規事業〉 千葉県発達障害者支援相談センターCASの主催により平成23年10月から全5回開催し、発達障害児を育てる保護者を5名程度のグループに分け、子育てに関する討議を行い、それぞれの親が子どもへの関わり方や子育ての研修を行う。	平成23年度実績 1回 参加者20人	毎年2回開催 参加者 40人	ペアレントワークショップ 年1回(全5回) 参加者7名 フォローアップ講座(全2回) 参加者7名	A	ペアレントワークショップ 年1回(全5回) フォローアップ講座(全2回)を実施していく。	社会福祉課	
Ⅱ	2	31	障がい児を育てる地域の体制整備事業	〈平成23年度新規事業〉 障害児を育てた経験のある方とこれから育てていく方達の交流の場を設けて、育てづらい子どもの養育について語り合う場と遊具等を整備し、親子で交流できる場を提供する。 また、研修会や講演会を実施し、障害児への理解を深める。 子どもの成長を記録するライフサポートファイル「すこやか」を作成し、生まれてくる子ども保護者全員と希望者に配布した。	平成23年度実績 研修会 2回 参加者72人 交流会 5回 参加者30人 ライフサポートファイル 1,200冊作成	研修会 2回/年 交流会 1回~2回/毎月	勉強会 1回 13名参加 音楽交流会 1回 19名参加 交流会 8回 104名参加	B	研修会は保護者や支援者のニーズに合う講師・内容を考えていく。 また、交流会を知らない人もいるので周知を行っていく。	社会福祉課	健康づくり課 子育て支援課 教育センター
Ⅱ	3	32	富津市子どもセンター事業	子どもの健全育成のために、子ども達が参加できる事業・行事・活動等の情報を提供する。	実施	継続	子ども情報誌「ネットワーク」を年3回(5,800部/回)発行し、幼稚園・保育園・小中学校・郵便局等に配布した。		平成26年度をもって、子どもセンターを廃止する。 情報提供については、引き続き生涯学習課にてホームページ・教育かわら版等で実施していく。	生涯学習課	
Ⅱ	3	33	家庭憲章の普及事業	家庭憲章を推進し、青少年の健全育成を図る。	普及	普及	青少年相談員・子ども会・生涯学習推進大会等会議資料に添付し、普及を図った。 青少年相談員の活動の中で家庭憲章の推進を図った。		青少年相談員の活動の中で家庭憲章の普及を進めていく。	生涯学習課	
Ⅱ	3	34	家庭教育手引きの配布事業	県発刊の家庭教育の手引き(CD-ROM)を各小中学校及び関連部署へ配布し、活用を図る。	実施	継続	市のホームページに県のホームページの情報を掲載し、その周知を図るとともに、各小中学校へ活用の実態調査を実施した。		県のホームページを通じた情報を提供し、各小中学校を通じて活用を図っていく。	生涯学習課	
Ⅱ	3	35	家庭教育学級	地域における親世代・子世代の交流を含めた仲間づくりを目指して、親子共同(協働)学習の形態で開設し、家庭における親子関係の改善・充実を図る。	家庭教育学級 6校 参加者数 800人	継続	小学校5校・中学校1校にて実施。 参加者数 延643名		家庭教育学級を実施するとともに、家庭教育学級未実施校への参加を促していく。 平成27年度は、小学校6校・中学校1校にて実施予定。	生涯学習課	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推進 事業	事業 内容	平成 21 年度 の 状況	平成 26 年度 目 標	平成 26 年度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅱ	3	36	家庭教育指導員	家庭教育に関する相談や指導のほか、家庭教育学級の企画運営、内容の指導助言を行う。	指導員数 1人	継続	家庭教育指導員1人 家庭教育学級の企画運営や内容についての指導助言、公民館における子ども向け教室の指導助言を行った。	／	家庭教育指導員1名による家庭教育学級の企画運営や内容についての指導助言、公民館における家庭教育に関連する教室の指導助言を継続していく。	生涯学習課	
Ⅱ	3	37	おはなし会	絵本の読み聞かせや手あそびを行い、本に親しむ機会を作る。	実施	継続	年間12回開催	／	今後も事業を継続していく。	生涯学習課	
Ⅱ	3	38	教育相談事業	いじめ・不登校・引きこもり・家庭内暴力・発達障がい等の相談活動を行う。	実施	継続	来所3件 電話8件 計11件	／	随時の相談体制を継続していく。	教育センター	
Ⅱ	3	39	幼稚園での障がい児受入れ (Ⅱ-2-23 再掲)	集団での保育可能な障がい児の保育を健常児と共に実施し、相互の社会性の向上を図る。	実施	継続	明澄幼稚園 該当者なし みなと幼稚園 受け入れは可能だったが希望者がいなかった。	／	希望があれば受け入れ検討をする。	私立幼稚園	
Ⅱ	3	40	幼稚園での預かり保育	通常の開園時間を超えて、幼児の受入れを実施する。	実施	継続	明澄幼稚園 利用登録者数 134名 延利用者数 5,805名 みなと幼稚園 延利用者数 3,140名	／	みなと幼稚園 預かり保育担当職員を確保するのが課題である。	私立幼稚園	
Ⅱ	3	41	幼稚園での教育相談	保護者からの育児や教育に関する相談を受付ける。	実施	継続	明澄幼稚園 年2回の面談の中で実施し、アレルギーを持っている場合は別途相談を受け付けている。 みなと幼稚園 年2回面談を実施。また、随時登降園時に相談を受け付けている。	／	明澄幼稚園 在園児以外の相談受付を検討する。	私立幼稚園	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推進 事業	事業 内容	平成 21 年度 の 状況	平成 26 年度 目 標	平成 26 年度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
II	3	42	幼稚園での地域活動	施設や地域のお年寄りを招待し、劇・季節行事・手作り玩具制作・伝承遊び等を通じた世代間のふれあい活動を行う。 また、未就園幼児や小学生との交流や中高生の就業体験の受入等、異年齢児交流活動を行う。	実施	継続	明澄幼稚園 小中学校の就業体験の実施 小学校 3回 中学校 1回 明澄祭の開催、マジックショー、ハザー、ゲームなどの一般市民へも開放 みなと幼稚園 小中高校の就業体験の受け入れ、地域の施設訪問を行った。	/	明澄幼稚園 お年寄りとの交流会を検討する。	私立幼稚園	
II	3	43	幼稚園での子育て支援	就園前の幼児と保護者を対象に、幼児の遊び場や同じ年齢の子どもを持つ親のつどう場や相談機会を提供する。また、幼児の一時預かりも行う。	実施	継続	明澄幼稚園 未就園児の受け入れ みなと幼稚園 未就園児を対象に月1回の教室、一時預かり保育を実施。	/	明澄幼稚園 就園前児童と保護者を対象とした交流の場を検討する。	私立幼稚園	
II	3	44	各幼稚園での特色ある事業	幼稚園ごとにそれぞれ特色のある教育を推進し、幼児の心と身体の成長とともに、親子のふれあいを支える。	実施	継続	明澄幼稚園 音感教育、漢字教育、体育指導、英語指導など専門講師による指導を実施。年長、年中園児を対象にマーチングバンドを編成し、地域のイベントなどに参加した。 みなと幼稚園 週2回の英語指導、週1回の体育指導、図書の貸し出し、月1回リトミックを行っている。	/	今後も事業を継続していく。	私立幼稚園	
II	3	45	保育所(園)・幼稚園・小学校との連携	定期的に意見交換・情報交換を行い、相互の連携体制の強化を図る。	一部実施	実施	特別教育推進チーム等へ参加し、情報の共有化を図り、保育士による学校訪問を実施。	A	小学校への保育士の訪問等により連携体制の強化が図られてきているため、今後も情報交換等を密に行い、連携体制の強化を図っていく。	子育て支援課	学校教育課 教育センター 私立幼稚園
II	3	46	子育てはがき通信ゆめーる事業	2歳未満の子を持つ保護者に対し、2歳の誕生日を迎える月まで、毎月違った内容で1通のはがきを届けて子育てに関する情報提供を行う。	実施	継続	予算が確保できず中止	/	すでに申し込みをした家庭へのハガキ通信は、個人の寄付で対応した。個人情報保護が壁になり、対象者の把握が困難であり、民間で運営する事の困難さがあった。	子育て支援課	広域君津子育て支援連絡協議会
II	4	47	認定こども園	幼稚園にて、保育にかける児童の預かり保育を実施する。	1か所	みなと幼稚園	年間延利用者数 1歳児35名 2歳児15名	/	子ども・子育て支援新制度施行に伴い、施設型給付施設として学校教育・保育を行っている。	子育て支援課	みなと幼稚園

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推進 事業	事業 内容	平成 21 年度 の 状況	平成 26 年度 目標	平成 26 年度 実績 見 込み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
II	4	48	通常保育	保護者の就労等により保育に欠ける未就学期の乳幼児を保育所で保育し、子どもの健全な育成を図る。	定員合計 1,010人(公私立)	継続	1月末在籍児童数 公立244名(内委託 8名) 私立399名(内委託 3名) 合計643名(内委託 11名)	/	子ども・子育て支援新制度施行に伴い、施設型給付施設として保育を行っていく。	子育て支援課	
II	4	49	土曜平常保育	保護者の土曜勤務等による平常保育ニーズに対応するため、保育所で実施する。	6か所実施 (私立4か所、公立2か所)	継続	土曜日一日保育実施 延利用者数 公立 飯野保育所 299名 中央保育所 380名 私立 4,488名	/	今後も事業を継続していく。	子育て支援課	
II	4	50	延長保育	長時間保育のニーズに対応するため、11時間の開所時間前後においての時間延長を行う。	早期延長 1か所 1時間延長 1か所 2時間延長 3か所	継続	早期延長 2か所 1時間延長 1か所 2時間延長 3か所 延利用者数 14,246名	/	子ども・子育て支援新制度における地域子育て支援事業として、子ども・子育て支援事業計画に基づき、実施していく。	子育て支援課	
II	4	51	乳児保育事業 (0歳児)	産後8週間の産休明けからの保育ニーズに対応するため、全保育所で実施する。	11か所	継続	1月末在籍児童数 公立 22名 私立 40名 合計 62名	/	今後も事業を継続していく。	子育て支援課	
II	4	52	休日・夜間保育事業	保護者の日曜・祝日勤務等による休日保育ニーズに対応するため、保育所で実施する。 また、市民のニーズに応じ、夜間保育も検討する。	休日保育 私立保育園 3か所 富津保育園 青堀保育園 大貴保育園	継続及び検討	休日保育実施園 私立保育園 3か所 夜間保育については、ニーズが無いため検討していない。 延利用者数 902名	C	子ども・子育て支援新制度における地域子育て支援事業として、子ども・子育て支援事業計画に基づき、実施していく。 夜間保育については、ニーズがあった場合、検討する。	子育て支援課	
II	4	53	一時預かり保育事業	保護者の断続的勤務や短時間勤務等に伴う一時的な保育や、月途中での保育に欠ける児童の翌月入所までの保育ニーズに対応するため、保育所で実施する。	実施施設数 10か所	継続	延利用者数 公立 7園実施 236名 私立 3園実施 859名	/	子ども・子育て支援新制度における地域子育て支援事業として、子ども・子育て支援事業計画に基づき、実施していく。	子育て支援課	
II	4	54	病後児保育事業	〈平成25年度新規事業〉 就労等により、病気やけがの回復期である児童が保育に欠けている場合の保育ニーズに対応する。	平成25年度実績 1園実施 延利用者数 256人	継続	富津保育園 1園実施 延利用者数 327名	/	子ども・子育て支援新制度における地域子育て支援事業として実施していく。	子育て支援課	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事業	事 業 内 容	平 成 21 年 度 の 状 況	平 成 26 年 度 目 標	平 成 26 年 度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅱ	4	55	幼稚園での預かり保育 (Ⅱ-3-40 再掲)	通常の開園時間を超えて、幼児の受入れを実施する。	実施	継続	明澄幼稚園 利用登録者数 134名 延利用者数 5,805名 みなと幼稚園 延利用者数 3,140名	/	みなと幼稚園 預かり保育担当職員を確保するのが課題である。	私立幼稚園	
Ⅱ	4	56	障がい児保育事業 (Ⅱ-2-21 再掲)	集団での保育可能な障がい児の保育を健常児と共に実施し、相互の社会性の向上を図る。	実施施設数 10か所	継続	公立保育所 障がい者手帳所持者1名 富津保育園 ADHD1名、自閉症1名 和光保育園 発達障がい児3名、下肢運動機能障害児1名 大貴保育園 集団で保育可能な障がい児の保育を健常児と共に実施した。	/	和光保育園 入園希望者を積極的に受け入れ、共に育つ保育を今後も継続する。就学時の相談も行政と情報交換をしながら、保護者への支援や学校とのパイプ役を担っていく。	子育て支援課	
Ⅱ	5	57	地域子育て支援センター	子育て家庭への支援活動の企画、調整、実施を担当する職員を配置し、育児についての相談指導、子育てサークル支援、特別保育の積極的な実施、地域の保育資源の情報提供など、子育て家庭への育児支援活動を行う。	3か所 和光保育園 2か所 青堀保育園 1か所	継続	青堀子育てサロン(青堀保育園) 大人1,539名 子ども1,724名 計3,263名 もうひとつのお家(和光保育園) 大人1,152名 子ども1,390名 計2,542名	/	子ども・子育て支援新制度における地域子育て支援事業として、子ども・子育て支援事業計画に基づき、実施していく。	子育て支援課	
Ⅱ	5	58	なのはな子育て応援事業	保育所が地域子育て支援センター的な機能を発揮し、地域の子育て支援活動を行う。	3か所	継続	富津保育園 「こあらっこルーム」は中断している。 大貴保育園 「子育てサロンこねこクラブ」に統合したため、実施せず。	/	今後は、私立保育園自主事業として実施していく。	子育て支援課	私立保育園
Ⅱ	5	59	富津保育園自主事業 「チャイルドケアふつつ」	未就園児の親子を対象に保育園を開放し、保育園行事への参加等を通して、保育園入所児童との交流を図る。また、育児相談や育児講座を開催する。	在宅児と園児の交流 月2回	継続	人員等の問題により実施できなかった。	/	再開の予定は今のところない。	子育て支援課	私立保育園
Ⅱ	5	60	大貴保育園自主事業 「子育てサロンこねこクラブ」	未就園児との親子を対象に、園児や職員と一緒に体操やゲームなどを楽しむ。また、育児に関する電話相談・来園相談・インターネット相談に応じる。	在宅児と園児の交流 月2回	継続	未就園児との親子を対象に、園児や職員と一緒に体操やゲームなどを楽しんだ。12回実施、未就園児参加者は、延べ14組であった。また、育児に関する電話相談1件・来園相談・インターネット相談はなかった。	/	今後も事業を継続していく。	子育て支援課	私立保育園

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事業	事 業 内 容	平 成 21 年 度 の 状 況	平 成 26 年 度 目 標	平 成 26 年 度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅱ	5	61	子育て支援事業 「おやこ遊遊ひろば」	公民館の一室を開放し、未就園児の親子を対象に育児不安や孤立感、ストレスを和らげ、子育てが楽しいと感じられるような場を提供すると同時に、子ども同士の発達を図る。また、主任児童委員による子育て何でも相談を行う。	月2回 参加者数延べ 646人	月2回 参加者数延べ800人	月2回 ボランティア、主任児童委員 参加親子数 延399名	B	1歳半健診時等での事業の周知で利用者の増加を図っていく。	社会福祉協議会	
Ⅱ	5	62	子育て支援事業 「布えほん」貸出	ボランティア布えほんメルヘンにより製作された布絵本やおもちゃを、市内幼稚園、保育園、個人及び福祉団体に貸し出す。	実施	継続	貸出件数 9件 おひさま広場 14件 市内幼稚園、保育園、個人及び福祉団体へ貸出を行った。 作成ボランティア 延276名		新規のおもちゃの製作や修繕、消毒などを行い、事業を継続していく。	社会福祉協議会	
Ⅱ	5	63	「ピッコロ学級」	幼児の心身の発達や健康・栄養についての講義、遊びの実習などを通して子育てについて学び、親子・親同士の交流を図る。	実施	継続	6回 24名		参加人数の減少、今後は更なる講座の広報活動を行い参加人数の募集を図っていく。	中央公民館	
Ⅱ	5	64	子育てサポーターの育成	地域に埋もれている人材を発掘し、地域での子育て支援を担う子育てボランティアを育成する講座を開園し、サポーターを育成する。	サポーター登録者 20名	継続	6名 45回派遣		サポーターの活動者が減ってきているため、平成26年度で事業を休止とする。	子育て支援課	
Ⅱ	5	65	ファミリーサポートセンター	子育て家庭と子育てを支援する市民を会員として、送迎や放課後の預かりなど相互援助活動を行う組織の設置に向けて、子育てサポーターやボランティア団体等と協力しながら取り組む。	未実施	設置検討	子ども・子育て支援事業計画策定とともに検討を行った。	B	子ども・子育て支援新制度における地域子育て支援事業として、子ども・子育て支援事業計画に基づき、実施していく。	子育て支援課	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事業	事 業 内 容	平成 21 年度 の 状 況	平成 26 年 度 目 標	平成 26 年 度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅱ	5	66	保育所地域活動 「世代間交流事業」	老人福祉施設への訪問、あるいは施設や地域のお年寄りを招待し、劇・季節的行事など世代間のふれあい活動を行う。	実施回数 30回 実施施設数 10か所	継続	公立保育所 おじいちゃんおばあちゃんとの交流会 7回 高齢者施設訪問 3回 青堀保育園 老人施設訪問、施設利用者を招待、敬老交流会を実施 富津保育園 お爺ちゃんによる地域の祭礼の山車用の飾り作りやお婆ちゃんによる漬物指導など 和光保育園 老人施設への慰問訪問 2回 お爺ちゃんによる地域の祭礼の山車用の飾り作りやお婆ちゃんによる漬物指導など 大貫保育園 歩いて行ける距離の老人施設へ訪問し、季節的行事にふれあい活動を行った。 園児10名、お年寄り10名		今後も事業を継続していく。	子育て支援課	私立保育園
Ⅱ	5	67	幼稚園での教育相談 (Ⅱ-3-41 再掲)	保護者からの育児や教育に関する相談を受付ける。	実施	継続	明澄幼稚園 年2回の面談の中で実施し、アレルギーを持っている場合は別途相談を受けている。 みなと幼稚園 年2回面談を実施。また、随時登降園時に相談を受け付けている。		明澄幼稚園 在園児以外の相談受付を検討する。	私立幼稚園	
Ⅱ	5	68	幼稚園での地域活動 (Ⅱ-3-42 再掲)	施設や地域のお年寄りを招待し、劇・季節行事・手作り玩具制作・伝承遊び等を通じた世代間のふれあい活動を行う。 また、未就園幼児や小学生との交流や中高生の就業体験の受入等、異年齢児交流活動を行う。	実施	継続	明澄幼稚園 小中学校の就業体験の実施 小学校 3回、中学校 1回 明澄祭の開催、マジックショー、ハザー、ゲームなどの一般市民へも開放 みなと幼稚園 小中高校の就業体験の受け入れ、地域の施設訪問を行った。		明澄幼稚園 お年寄りとの交流会を検討する。	私立幼稚園	
Ⅱ	5	69	幼稚園での子育て支援 (Ⅱ-3-43 再掲)	就園前の幼児と保護者を対象に、幼児の遊び場や同じ年齢の子どもを持つ親のつどう場や相談機会を提供する。また、幼児の一時預かりも行う。	実施	継続	明澄幼稚園 未就園児の受け入れ みなと幼稚園 未就園児を対象に月1回の教室、一時預かり保育を実施。		明澄幼稚園 就園前児童と保護者を対象とした交流の場を検討する。	私立幼稚園	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事業	事 業 内 容	平成 21 年度 の 状 況	平成 26 年度 目 標	平成 26 年度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅱ	5	70	園庭開放	安全性に配慮しながら、保育所（園）や幼稚園の園庭開放を実施する。	公私立保育所（園）11園 幼稚園 3園	継続	公立保育所 利用組数 88組 （大人88名 子ども96名） 私立保育園 利用組数 1,626組 （大人1,626名 子ども1,831名） 明澄幼稚園 施設見学などを実施 みなと幼稚園 毎日園児の弟妹が利用している。	/	今後も事業を継続していく。	子育て支援課 私立幼稚園	私立保育園
Ⅱ	5	71	主任児童委員	児童の福祉に関する活動及び児童の福祉に関する機関と民生児童委員との連絡調整を行う。	委員6名(各地区2名)	継続	富津・大佐和・天羽各2名 子育て支援課 主任児童委員の定例会に参加 社会福祉協議会 おやこ遊遊ひろばでの子育てなんでも相談 19回開催38名 定例会開催 3回	/	子育て支援課 定例会議等に参加し、引き続き連携を図っていく。 社会福祉協議会 児童の福祉に関することとの連絡・相談窓口を図っていく。	子育て支援課 社会福祉協議会	
Ⅱ	5	72	おひさま広場事業	主に乳幼児を持つ親子が気軽に集い、温かい雰囲気の中での交流、育児相談、子育て情報の提供を行う。	公立保育所で実施	継続	移動型（保育所実施） 126組 272名参加 市役所ホール実施 77組 164名参加 合計 203組 436名参加	/	参加者数は増えてきており、今後も事業を継続していく。	子育て支援課	
Ⅱ	5	73	複合施設の整備	図書館、福祉センターの機能を併せ持つ複合型施設の整備について検討を進める。	整備基本計画策定	具体化	財政状況を鑑みて、計画を先送りする。	C	造成設計及び整備基本計画を基本に、複合施設の整備について検討を進めたが、財政状況を鑑みて、計画を先送りすることとなった。	生涯学習課	
Ⅱ	5	74	移動図書館	移動図書館車両を更新したことによる積載蔵書冊数の増加等、図書貸出しサービスの充実を図り、もって市民の生涯にわたる学習の向上を図る。	実施	継続	16か所を月2回巡回した。	/	利用者が利用しやすいようなサービスステーションの見直し、図書貸出サービスの充実を図っていく。	生涯学習課	
Ⅱ	6	75	家庭相談員	児童育成の基盤である家庭における人間関係の健全化及び児童の適正な養育等、家庭児童福祉に関する相談指導の充実を図る。	配置相談員 1人配置 実施相談数 週2回	継続	相談員が週2日出勤し、児童虐待相談や家庭相談に対応した。 相談件数 83件	/	電話相談、面談、家庭訪問により、家庭支援を継続していく。	子育て支援課	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事業	事 業 内 容	平成 21 年度 の 状 況	平成 26 年度 目 標	平成 26 年度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅱ	6	76	富津市要保護児童対策 地域協議会	地域において児童と接する機会のある 関係機関及び団体等と連携を図り、総 合的視点から早期に児童虐待の予防・ 防止活動を展開する。	設置	継続	代表者会議 1回 実務者会議 5回	/	児童虐待対応件数は、年々増 加してきている。児童相談所 をはじめ各関係機関との連携 を協議会を中心に図ってい く。	子育て支援課	
Ⅱ	7	77	妊婦・乳児健診費用の 助成 (1-3-8 再掲)	妊娠期(14回分)・乳児期(3～ 6ヶ月・9～11ヶ月)の健診費用を 助成する。	実施	継続	妊婦健診 延2,186名 乳児健診 延 261名	/	今後も事業を継続していく。	健康づくり課	
Ⅱ	7	78	児童手当 (子ども手当)	子どもを養育している保護者の生活安 定と子どもの健全育成を目的に、小学 校(子ども手当は中学校)修了前まで 支給する。	実施	拡大	受給者 2,691名 対象児童数 4,419名	A	国の制度に対応していく。	子育て支援課	
Ⅱ	7	79	乳幼児医療 (子ども医療費助成)	小学校就学前の乳幼児が入院や通院し た場合、保護者へ医療費の自己負担金 を助成する。	実施	拡大	現物給付(受給券)及び償還払 いにより中学3年生まで助成を 行った。 受給券保持者 4,715名 助成実績 現物 49,830件 償還 396件 合計 50,226件	A	今後も市の単独助成分も合わ せ、中学校3年生までの助成 を継続していく。	子育て支援課	
Ⅱ	7	80	未熟児養育医療助成	<平成25年度新規事業> 平成24年度までは、県事業であった が、平成25年度より市へ事業が移管 された。 出生時の体重が2,000g以下、または 身体の発達が未熟なまま出生し、入院 治療を必要とする乳児の医療費を助成 する。	平成25年度実績 助成人数 4名 助成件数 14件	継続	助成人数 5名 助成実績 18件	/	国の制度に対応していく。	子育て支援課	
Ⅱ	7	81	各種手当給付事業	特別児童扶養手当・障がい児福祉手 当・難病患者見舞金を20歳未満の重 度の障がい児や難病患者に給付する。	実施	継続	特別児童扶養手当 61名 障害児福祉手当 15名 難病患者見舞金 30名	/	難病患者見舞金は平成27年 度に廃止予定。その他の手当 は、引き続き実施していく。	社会福祉課	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事業	事 業 内 容	平成 21 年度 の 状 況	平成 26 年度 目 標	平成 26 年度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
II	7	82	各種医療費等助成事業	障がいのある児童に対し、自立支援医療（育成医療・精神通院医療）、重度心身障害者医療費助成、精神障害者医療費助成、難病患者の医療費助成、小児慢性疾患等低疾患の医療費助成を行う。	実施	継続	育成医療 5名 精神通院医療 8名 重度医療 20名 精神医療 8名 難病医療 保健所担当 小児医療 保健所担当	/	今後も事業を継続していく。	社会福祉課	
II	7	83	各種割引制度	障がいの程度によって公共料金や交通機関料金等の割引を実施する。	実施	継続	手帳取得者等に関して割引制度の周知を図り、割引を実施した。	/	各制度の周知を図り、今後も事業を継続していく。	社会福祉課	
II	7	84	小児慢性特定疾病医療費助成制度	児童の慢性疾患は長期にわたるため、その治療費の自己負担を公費で負担する。	実施	継続	申請数 23件	/	平成27年1月から対象疾病数760疾病（14疾患群）に拡大した。	君津健康福祉センター	
II	7	85	児童扶養手当	父又は母と生計を同じくしていない18歳の年度末までの児童を持つ父、母又は養育している方に支給する。	実施	拡大	資格者数 371名 受給者数 331名 （内父子家庭 13名） 対象児童数 484名	A	国の制度に対応していく。	子育て支援課	
II	7	86	ひとり親家庭等医療費の助成	ひとり親家庭に対して医療費の一部を助成する。	実施	継続	受給資格者数 897名 （内父子家庭等 28名） 受給者数 191名 助成実績 1,235件	/	県の制度に対応していく。	子育て支援課	
II	7	87	母子・父子・寡婦福祉資金貸付	母子家庭・寡婦の福祉向上のための資金を貸付ける。	実施	継続	平成26年10月から対象が父子にも拡大された。 君津健康福祉センター 1件 子育て支援課 相談には来ているが、貸付申請には至っていない。	/	子育て支援課 相談を受け、申請可能であれば君津健康福祉センターへ円滑な引き継ぎを行っていく。	君津健康福祉センター 子育て支援課	
II	7	88	遺族基礎年金	年金の保険料を納めている時に本人が死亡し、扶養されていた妻に18歳未満の子がいた場合に、遺族年金を支給する。	実施	継続	1件	/	今後も事業を継続していく。	市民課	木更津年金事務所

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推進 事業	事業 内容	平成 21 年度 の 状況	平成 26 年度 目標	平成 26 年度 実績 見 込み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅱ	7	89	交通遺児等手当	中学生以下の交通遺児に対して手当を支給する。	実施	継続	受給者なし	/	今後も事業を継続していく。	市民課	
Ⅱ	7	90	私立幼稚園就園奨励費の助成	保護者に対し、保育料等の助成を行う。	実施	継続	市内在住者の通園幼稚園10園 のに対し、助成を行った。 助成人数 352名	/	来年度よりみなと幼稚園が施設型給付施設になるため減になる。他市に通園している園児の数や助成の基準額変更により、助成金額が増になる予定。 また、県に申請後の途中入園者への対応を検討する必要があると考える。	学校教育課	
Ⅱ	7	91	保育料3子目無料化	3人の子が保育所（園）へ入所している場合、3人目の子に対しては保育料を無料とする。	実施	継続	該当者数 23名	/	今後も事業を継続していく。	子育て支援課	
Ⅲ	1	92	外国語指導助手（ALT）	小中学生が「生きた英語」を学習することにより、異文化理解や国際理解教育を推進する。	指導助手 3人	指導助手4人へ拡大	3人のALTを雇用形態を委託から派遣へと切り替えて雇用した。教職員との連携もより深まり、小学校外国語活動・中学校の英語教育で有効活用された。	B	将来の外国語活動・英語教育の国の動向を注視し、今後の指導の体制を整えていく。	教育センター	
Ⅲ	1	93	道徳教育	心に響く道徳教育推進のため、「体験活動の充実」・「心のノートの活用」・「学校・家庭・地域との連携」などに取り組む。	児童生徒全員	継続	道徳教育は各学校とも力を入れている。全校道徳や道徳集会が定着している学校もある。地域の方を招いたり、公開授業を行い、啓発を行った。	/	生命尊重の精神や適切な判断力の育成に重点を置きながら、道徳教育に力を入れていく。	教育センター	
Ⅲ	1	94	国際交流協会補助事業	富津市国際交流協会が行う国際社会や多文化共生への理解を深めるための活動に対し助成する。	実施	継続	世界の料理をつくる会・ニューイヤーフェスタの開催、さらに協会活動を広く知らしめ、より多くの青少年の交流機会を創出するため、会報を2回発行した。また、カールスバッド市へ青少年を派遣し、今後の交流発展につながる訪問となった。	/	小中学校の国際理解が進むよう、新たな取組みを検討し、実践できるよう事務局として支援を行っていく。	企画政策課	富津市国際交流協会

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事業	事業 内容	平成 21 年度 の 状況	平成 26 年度 目 標	平成 26 年度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅲ	1	95	教育センター	教職員の指導力向上への研修活動とともに、教育相談を実施する。	実施	継続	夏季研修講座を10講座開催し、延べ300名を越える参加があった。教科や道徳指導・児童生徒理解・地域再発見の講座等により、教職員の力量向上に努めた。また、2年目教員研修、講師を対象にした研修等、若年層教員の指導にも力を入れた。		教職員のニーズにあった研修を計画し、力量の向上に努める。若手ばかりでなく中堅層を対象にした研修も計画していく。	教育センター	
Ⅲ	1	96	情報教育	コンピュータ室等の整備・充実を図る。情報活用能力の育成を図る。	実施	継続	各校の担当者会議を2回開催し情報管理について周知。夏季講座として4講座開催し、スキルアップを図った。中学校のコンピュータ室のパソコンを入れ替えると共に、各教室で役立てられるようタブレット端末の導入も図った。		ICTを活用した情報教育の推進に向け、研修会等を通して、教員スキルアップを図る。また、計画的にコンピュータ室の整備を行っていく。	教育センター	
Ⅲ	1	97	小中連携教育推進事業	市内全中学校区を研究指定し、ふるさと富津を担う児童・生徒を育成する。	実施	充実	各中学校区に連携の取り組みを継続している。学力向上・体力向上・生徒指導等の取り組みを共通理解を図りながら進めている。		各学校区において学力向上の取り組みを中心としながら、それぞれの地区に合わせた取り組みを継続していく。	教育センター	
Ⅲ	1	98	福祉教育	関係機関と連携し、自他の生命の尊重や思いやる心の育成を図る。	実施	充実	各学校とも道徳、総合的な学習の時間、各教科と関連させながら福祉教育の取り組みを進めている。身近にある施設と交流を図っている学校もある。		各学校の実態に応じて、今後も各教科等と関連させながら充実を図っていく。	教育センター	
Ⅲ	1	99	福祉教育推進校	市内全小中学校の児童・生徒を対象に、社会福祉への理解と関心を深め、ふれあいと支え合いによる地域連帯の心を育成するために各種交流事業等への取り組みに助成するほか、福祉体験学習への講師を派遣する。	実施	継続	市内小中学校より福祉教育、体験学習の講師派遣 4件		今後も事業を継続していく。	社会福祉協議会	
Ⅲ	1	100	教科指導員	教職員の指導力向上を図り、よりわかる授業を推進する。	実施	継続	教科指導に関して各学校の要請に応え指導助言を行っている。1月末で50件程度の要請があった。		各学校の要請により、派遣を継続していく。	教育センター	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事 業	事 業 内 容	平 成 21 年 度 の 状 況	平 成 26 年 度 目 標	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関		
Ⅲ	1	101	小中学校校舎等施設耐震化整備事業	市内小中学校17校61棟の内、新耐震基準を満たさない昭和56年以前に建築された42棟に対して耐震診断を行い、耐震性がないと診断された建物について補強工事を実施する。	耐震診断補強設計補強工事	12校24棟 4校 6棟 3校 4棟	事業終了	平成25年度で事業は終了した。	A	今後は、校舎等の老朽化改善のための大規模改修工事に向けた動きへシフトしていく。	庶務課	
Ⅲ	2	102	小学校体育科・中学校保健体育科における健康教育の実践	小中学校を通じて、子ども達の発達段階を踏まえて、自らの健康を適切に管理し改善する資質や能力を育成する。	全小中学校実施		継続	各学校と保健指導の中で、年間計画に位置づけながら、生活習慣・食生活・身体の成長などについて、子どもの発達段階に応じて実施した。食育指導と関連を図って実施している学校もある。		今後も各学校において、年間指導計画に従って実施していく。	教育センター	
Ⅲ	2	103	「薬物乱用防止教室」の実践	学校行事等で「薬物乱用防止教室」を開催し、警察等の協力を得て基本的な知識を習得する。また、保健体育科で指導計画に基づく学習を養護教諭と共に進める。	全小中学校実施		継続	全小中学校において外部機関の協力を得ながら、授業として、あるいは行事として実施した。		外部機関との連携を生かしながら薬物乱用防止教室の開催を継続していく。	教育センター	
Ⅲ	2	104	学校保健委員会	児童生徒の健康づくりを推進する組織として、学校での健康に関する問題を研究・協議する。	実施		継続	中学校区で合同の学校保健委員会を開催した（各委員会年1回の開催）。委員会では、児童・生徒の健康・生活等の課題解決にあたり、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の指導・助言に基づき、具体的方策を協議し、健康教育の一層の推進を図った。		児童生徒の健康管理は教育上重要である。今後も各中学校区の学校保健委員会での活動を通して、健康教育の推進を図る必要があると考える。	学校教育課	
Ⅲ	2	105	食育の実践	次世代を担う小・中学生に正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるように、体験学習や学校栄養職員とのチームティーチングによる食育を各学校と情報交換しながら進める。	全校区実施		継続	栄養教諭・学校栄養職員を食育指導員として委嘱し、各学校の要請による食育指導が継続されている。各学校における指導も定着してきており、充実した内容となってきている。		各学校の実態に応じた食育の実践を継続し、栄養士の協力を今後も仰いでいく。	教育センター	
Ⅲ	3	106	特別支援教育連携協議会運営事業	LD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥/多動性障がい）、高機能自閉症を含め、障がいのある児童生徒一人ひとりに適切な教育と指導を行う体制を整える。	全小中学校を対象に実施		継続	推進チームにより全小中学校の学校訪問を行い、支援・援助を行った。その実態把握を基に連携協議会を年3回開催し、支援の在り方、保護者への啓発、ライフサポートファイルの活用、各機関との連携等について話し合った。		今後も特別支援教育の充実に向けた体制を整えていく。	教育センター	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事 業	事 業 内 容	平 成 21 年 度 の 状 況	平 成 26 年 度 目 標	平 成 26 年 度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 方 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅲ	3	107	スクールカウンセラー	いじめや不登校等、児童生徒、保護者の相談に応じるため、スクールカウンセラーを配置する。	全中学校配置 小学校には巡回・要請に応じて	継続	5中学校に各1人配置 今年度も延べ1,000件を超える カウンセリングを行った。	/	カウンセリングの必要性は増している。今後も事業を継続していく。	教育センター	
Ⅲ	3	108	不登校児童生徒の適応指導	指導員2名により適応指導教室を実施する。同時に学校・適応指導教室・関係諸機関とのネットワークにより、不登校児童生徒への総合的な対策を行う。	指導員 2人	継続	相談員2人配置 平成27年1月末現在、在籍児童・生徒数は6名。日々の状況を把握しながら、学習指導等を行っている。中学生には進路を見据えた指導も実施している。	/	学校と連携し、学校復帰の視点を大事にしながら、事業を継続していく。	教育センター	
Ⅲ	3	109	問題を抱える子ども等の自立支援事業	自立支援指導員4名を小中学校に配置し、不登校児童生徒やいじめ・児童虐待等の問題行動の未然防止や早期発見・早期対応を行う。	指導員 4人	実施	自立支援指導員4人を7小中学校に配置。児童生徒の長期欠席の改善や問題行動等の未然防止に向け、指導・対応を行った。年5回の情報交換会を実施している。	/	未然防止に力を入れながら、長欠や問題行動への早期発見、早期対応を行っていく。	教育センター	
Ⅲ	3	110	はまかせ教育相談	専門医による教育相談を実施し、児童の悩み・不安・問題行動について専門的な立場からカウンセリングを行う。	実施	継続	専門医による教育相談を継続している。1月末現在6回開催し、8件の相談があった。	/	専門医による教育相談を継続し、児童・生徒の心理的不安や問題行動等への対応を行っていく。	教育センター	
Ⅲ	3	111	早期療育育児支援のための連携体制の充実（Ⅱ-1-19 再掲）	子ども一人ひとりの発達状態に応じて、必要な育児支援を早期から継続して行えるように、保健・医療・福祉をはじめ保育所（園）や幼稚園との連携体制を充実する。	実施	充実	サポートが必要な子どもについて、各機関と情報交換を密に行い、療育相談等につなげた。	/	今後も事業を継続していく。	子育て支援課	健康づくり課 社会福祉課 保育所（園） 学校教育課
Ⅲ	4	112	「まちの先生制度」の活用	幼児、小中学生に対して優れた技能や知識を持った地域の人材を活用した教育を推進する。	実施	継続	「まちの先生」登録者数は116名で、利用件数は82件であった。	/	「まちの先生」の活用を推進していく。	生涯学習課	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推進 事業	事業 内容	平成 21 年度 の 状況	平成 26 年度 目標	平成 26 年度 実績 見 込み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅲ	4	113	学校評議員制度	学校・家庭・地域と連携協力した学校づくりを推進するため、学校評議員制度を活用し、地域に根ざした学校教育を推進する。	全小中学校	継続	学校評議員として、各校長の保護者、地域代表、有識者からの推薦により、市内で82名（4名の学校が3校、他校は5名委嘱）を委嘱した。各学校で校長の求めに応じ、意見を述べる活動を年数回実施している。教育委員会も全体研修会を実施するなど、活動の推進を図った。		「地域に開かれた学校」が求められる中、学校評議員制度には従前以上の必要性が高まっており、今後一層の充実を図っていく必要があると考える。	学校教育課	
Ⅲ	4	114	学校施設の有効利用	学校施設の地域開放に向けて、各学校が必要に応じて関係機関と相互調整し有効利用を図る。	全校で実施	充実	学校教育課 各学校が必要に応じて関係機関と調整し、有効利用が図られた。 庶務課 飯野小学校・大貴小学校・佐貴小学校 各学校の普通教室1部屋を学童保育として使用している。		空き教室の有効利用を図っていく。	学校教育課	
Ⅲ	4	115	PTA連絡協議会	学校・家庭・地域の連携体制をより強めるため、その活動に対し補助金を交付する。	年1回	継続	常任委員会3回 広報研修会1回 バレーボール大会1回 視察研修1回 学校・家庭・地域の連携体制を図った。		次世代育成に大きく関わる保護者の団体であるPTAの活動を充実させるため、PTA連絡協議会を通じた学校・家庭・地域の連携体制を図るための活動に対して補助金の交付を行っていく。	生涯学習課	
Ⅲ	4	116	青少年赤十字事業（ジュニア・レッド・クロス JRC）	青少年の健全な育成を図る。ため、教員等を指導者として実施する各種の地域交流事業等に助成する。	小学校2校で実施	継続	青少年赤十字事業活動助成金を交付し、活動の推進を図った。		JRCの周知を図り、今後も事業を継続していく。	社会福祉課	
Ⅲ	5	117	放課後児童健全育成事業（学童保育所）	保護者が昼間、家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。また、利用希望者の受入れ態勢の充実を図る。	5か所 大貴小学校区 飯野小学校区 青堀小学校区 竹岡小学校区 富津保育園	拡大	5小学校区7団体 （内補助金交付団体6団体） 青堀小学校区 3団体 富津小学校区 飯野小学校区 大貴小学校区 佐貴小学校区 在籍児童数 150名	B	子ども・子育て支援新制度における地域子育て支援事業として、子ども・子育て支援事業計画に基づき実施していく。	子育て支援課	
Ⅲ	5	118	こどもチャレンジ教室	宿泊体験や他の体験活動を通して自主性、創造性、社会性を育てる。	実施	継続	中央公民館 4回 64名 市民会館 5回 109名		市民会館 少子化に伴い、学校が統合となる中、子どもたちが学区を超えた、地域で集える機会を作り交流することが出来た。	中央公民館 市民会館	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推進 事業	事業 内容	平成 21 年度 の 状況	平成 26 年度 目標	平成 26 年度 実績 見 込み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅲ	5	119	都市公園整備	都市公園の整備及び施設の改修を行う。	実施	継続	実績なし		安全かつ健全な遊び場所を提供できるように、公園や遊び場を整備するとともに、公共的施設を子ども連れの人を含むすべての人が利用しやすいよう整備していく。	街づくり課	
Ⅲ	5	120	児童遊園及び子どもの遊び場の整備	遊具の整備を進める。	実施	継続	児童遊園修繕 1か所 子どもの遊び場修繕 1か所		遊具等の点検に努め、安全に利用できるように努めていく。	子育て支援課	
Ⅳ	1	121	ふれあいスポーツフェスタ事業	市民の健康づくり、体づくり及び親睦、交流を目的に、子どもから高齢者まで参加できるスポーツイベントを実施する。	年1回	継続	実行委員会方式により、競技内容を検討したが台風の影響により中止となった。		大会の開催方法について検討を行う。	体育振興課	スポーツフェスタ実行委員会
Ⅳ	1	122	青少年問題協議会	青少年に関する施策の連絡調整を行う。	実施	継続	年1回（7月16日）開催 少年非行と不登校対策について 実態把握した各団体の取り組み 状況の連絡調整を図った。		青少年に関する施策の連絡調整のための青少年問題協議会を開催していく。	生涯学習課	
Ⅳ	1	123	青少年相談員活動／ 青少年相談員連絡協議会	愛のパトロールや青少年のつどい大会を通して、地域活動等を担う青少年相談員相互の情報交換を行い、青少年の健全育成を図る。	実施	継続	青少年相談員数 65名 事業参加者 1,050名 青少年相談員相互の情報交換を行い、青少年の健全育成を図った。		青少年相談員相互の情報交換を行い、青少年の健全育成を図っていく。	生涯学習課	
Ⅳ	1	124	子ども会ジュニアリーダー養成	子ども会リーダーとしての知識・技術を習得する機会を提供する。	実施	継続	前期初級研修会の参加者 25名 後期初級研修会の参加者 18名		子ども会リーダーとしての知識・技術を習得する機会を提供し、子ども会リーダーの養成を図っていく。	生涯学習課	
Ⅳ	1	125	子ども会育成連絡協議会	子ども会相互の情報交換を行い、子ども会活動の活性化を図る。	実施	継続	理事会を9回開催し、子ども会活動の活性化を図った。		子ども会相互の情報交換を行い、子ども会活動の活性化を図っていく。	生涯学習課	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推進 事業	事業 内容	平成 21 年度 の状 況	平成 26 年度 目 標	平成 26 年度 実 績見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
IV	1	126	学校体育施設開放事業	市における社会体育の振興、普及のために学校の施設を学校教育に支障のない範囲で一般市民の健全な余暇利用の場として開放する。	実施	継続	開放校 17校 利用者 75団体 1,652名	/	市民の健全な余暇利用の場として開放していく。	体育振興課	
IV	1	127	富津市スポーツ少年団事業	地域に根ざしたスポーツ活動を推進し、もって郷土の未来を担う、青少年の心身の健全なる育成を図る。	実施	継続	市スポーツ少年団種目別交流大会 軟式野球、サッカー 県スポーツ少年団母集団研修会事業 ベップトークについて 講師：日本ベップトーク普及協会 認定講師 寺本 強 甲州市富津市スポーツ少年団交流事業 参加者7団体95名	/	友好都市の甲州市と富津市のスポーツ少年団員が、スポーツを通じて交流し、親善を深めると共に、お互いの自然環境、文化の違い等、友好都市の理解を深めることを目的に開催していく。	体育振興課	
IV	1	128	地域活動団体の支援	活動場所の提供など、団体活動の活性化に向けた必要な支援を行う。	実施	継続	富津公民館 34,808名 中央公民館 26,194名 市民会館 25,472名	/	富津公民館 多種多様化するニーズに少しでも対応できる環境づくりを行い、地域の方々の利用の促進が図れるよう努める。 中央公民館 今後も各種団体と連携し、誰もが参加しやすい環境作りが必要である。 市民会館 地域の人々が、安全・安心に利用しやすい環境作りをし、活動団体の利用促進を図り支援を行っていく。	富津公民館 中央公民館 市民会館	
IV	1	129	「いいじゃないか！ ふいつ」推進員	推進員（愛称：イフ推進員）は地域の宣伝役とパイプ役として、富津市社会福祉協議会並びに各地区社会福祉協議会と連携しながら次世代育成を促進する。	198人	拡大	推進員数 263名	A	平成26年度をもって活動を終了とする。	子育て支援課	社会福祉協議会 関係各課
IV	1	130	子どもに関する窓口の円滑化の推進	乳児健診、乳児医療、保育所、子育て支援、幼児教育、学校教育、学童保育、社会教育、地域支援、各種の手当の支給など、多種多様な市の窓口の一本化により、子どもに関する窓口の円滑化・効率化を推進する。	未実施	整備	子どもの総合窓口として、各関係部署への案内を行い、円滑化を図った。	A	庁舎内の配置変更により、健康づくり課と窓口が近くなり、利便性は向上された。今後も子どもの総合窓口として、各部署と連携し市民サービスの向上に努める。	子育て支援課	
IV	2	131	不妊相談センター事業 (県事業)	千葉県君津健康福祉センターの不妊相談事業を行う。	実施	継続	回数 5回 相談件数 0件	/	今後も事業を継続していく。	君津健康福祉センター	

【後期計画評価】・・・A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推進 事業	事業 内容	平成 21 年度 の 状況	平成 26 年度 目標	平成 26 年度 実績 見 込み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
IV	2	132	不妊治療費助成事業 (県事業)	千葉県特定不妊治療費助成事業を行う。	実施	継続	助成申請数 17件	/	今後も事業を継続していく。	君津健康福祉 センター	
IV	3	133	企業誘致の推進	優良企業の誘致・集積を図り、地元雇用の拡大、定住人口の増加に努める。	実施	継続	進出企業 2社	/	富津地区工業用地への企業の進出に向け、引き続き千葉県(企業庁)と連携し誘致を推進していく。	企画政策課	千葉県企業庁
V	1	134	土地区画整理事業 (青木土地区画整理組合施行)	良好な住宅地の確保を図る。	工事完了	事業終了	平成26年3月14日で組合解散認可が承認され、その後清算事務を開始し、平成26年8月11日に清算終了が承認され事業終了となった。	A	平成26年8月11日に、県から清算終了が承認され、事業は終了し目標を達成した。	街づくり課	
V	1	135	市営住宅管理	良好な住環境を確保するため、市営住宅管理上で必要な修繕を行う。	管理住宅数 196戸(H21.4)	継続	32件	/	老朽化が著しいため修繕費の高額化が予測される。今後は解体も含め対策を検討していく。	建設課	
V	1	136	道路整備事業 (街路を含む)	良好な道路環境を確保するため、道路機能の向上と歩行者や通行車両の利便性向上を図る。	実施	継続	道路整備計画路線整備 L=3,266.3m 市道山下飯野線 市道下飯野線 大貫駅地下歩道	/	社会資本整備総合交付金事業により庁舎及び大貫駅周辺地区の整備を実施し、道路機能の向上と歩行者や通行車両の利便性の向上に向け道路整備を実施していく。	建設課	
V	1	137	防犯灯新設事業	夜間における犯罪防止と通行の安全及び地域環境の保全を図る。ために、防犯灯を設置する。また、設置基準の設定を検討し、計画的整備に努める。	実施	継続	防犯灯設置 4灯(寄附)	/	夜間における犯罪防止と通行の安全及び地域環境の保全は概ね図れた。今後は、設置基準を策定し、適正な管理を行っていく。	管理課	
V	2	138	幼児に対する交通安全教育	視聴覚教材を用い、安全確認の励行を促す。	実施	継続	実施回数49回 延参加人数1,780名	/	今後も事業を継続していく。	市民課	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推進 事業	事業 内容	平成 21 年度 の 状況	平成 26 年度 目標	平成 26 年度 実績 見 込み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
V	2	139	児童・生徒に対する交通安全教育	正しい歩行など交通ルールの基礎を実施する。 「自転車の安全な乗り方教室」を実施する。	実施	継続	実施回数23回 延参加人数1,227名		今後も事業を継続していく。	市民課	
V	2	140	交通安全意識の浸透	「広報ふつつ」、「パトロールふつつ」、回覧などで、全国交通安全運動への参加など交通安全に関わる情報提供を行う。	実施	継続	年間を通じて交通安全運動時に掲載し、市民への周知・徹底を図り情報提供を行った。		今後も事業を継続していく。	市民課	
V	2	141	チャイルドシート啓発活動	各交通関係者と連携し、乳児健診・予防接種の会場でチャイルドシート利用の啓発活動を行う。	実施	継続	シートベルト着用月間及び各交通安全運動時に啓発活動を実施した。		今後も事業を継続していく。	市民課	
V	2	142	幼児交通安全クラブ (ベゴちゃんクラブ)	幼稚園・保育所(園)に通園する幼児・保護者でクラブを結成し、幼児の交通安全教育活動を行う。	実施	継続	幼児の交通安全教育活動を実施した。		今後も事業を継続していく。	市民課	
V	2	143	交通安全協会	地域活動の中核として、市民の自主的な交通安全活動を促進する。	実施	継続	各交通安全運動時における啓発活動及び街頭監視や各主要行事に協力した。		今後も事業を継続していく。	市民課	
V	2	144	交通安全母の会	家庭における交通安全教育を促進するため、啓発活動を実施する。	実施	継続	各交通安全運動時における啓発活動等に協力した。		今後も事業を継続していく。	市民課	
V	2	145	生活ゾーン規制	特に通園通学路、学校周辺などの交通規制の徹底を図る。	実施	継続	通園通学路、学校周辺などの横断歩道等の速やかな修復に努めた。		危険が予想される通学路等については、パトカーによる警戒活動を積極的に実施し、要望に沿った信号機等の設置に努めた。 飯野小学校付近に信号機設置を計画中である。	富津警察署	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事 業	事 業 内 容		平成 21 年度 の 状 況	平成 26 年 度 目 標	平成 26 年 度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
V	2	146	共同現地診断による交通事故対策	事故多発地点において関係機関との共同の現地診断（調査）を実施し、道路交通環境の整備改善を図る。	実施	継続		平成26年度事故多発地点である大堀交差点について、関係機関と改良策を検討し、改善を図った。	/	事故多発地点において関係機関との共同現地診断を実施していく。	市民課	
V	2	147	交通遺児等手当（Ⅱ-7-89 再掲）	中学生以下の交通遺児に対して手当を支給する。	実施	継続		受給者なし	/	今後も事業を継続していく。	市民課	
V	2	148	参加・体験・実践型の防犯学習会の開催	保育所（園）や小学校での防犯指導・講話を行う。	実施	継続		各学校、老人クラブ等の要望や警察からの依頼により実施した。 防犯講話 46回 3,111名	/	積極的に防犯講話や防犯指導を実施していく。	富津警察署	
V	2	149	防犯意識の向上	広報誌「パトロールふっつ」の発行や、犯罪発生マップの発行を通じて、防犯意識の向上を図る。	実施	継続		「パトロールふっつ」 年4回発行 「犯罪発生マップ」 年12回発行	/	今後も事業を継続していく。	市民課	
V	2	150	街頭パトロール	地区で結成された防犯パトロール隊と、関係機関が連携し、街頭パトロールを行う。	実施	継続		8月に青少年相談員と青少年健全育成パトロール、12月に地区の防犯パトロール隊、関係機関と連携した合同パトロールを実施した。	/	各団体と協力して、街頭パトロールを実施していく。	富津警察署	
V	2	151	子ども110番の家	地域の方にご協力いただき、児童の登下校時の緊急避難場所として設置する	実施	継続		市内12校の小学校から387軒の協力をいただいた。平成25年度と比較し、協力戸数が減少している。引き続き児童の安全・安心のために学校（PTAを含む）が中心となって進めており、地域関係団体にも協力を依頼している。また、破損、老朽化したプレートとの交換を行った。	/	児童生徒の安全安心は教育上とても重要である。今後も各小学校区において登下校の見守り活動や広報活動を通して、協力者を募り、より安全安心の確保を行っていく必要があると考える。	学校教育課	
V	2	152	富津市ファミリーネットワーク活動	事件・事故のない安全な生活環境を確保し、安心して暮らせる地域社会実現のため、富津警察署と社会福祉協議会、市内3地区区長会、㈱ファインズが覚書を締結し、子どもや高齢者に対する犯罪の被害防止と対策、交通事故防止を呼びかけるイベント開催などの「層総ファミリア新聞」への掲載、交通安全教室の実施を行う。	実施	継続		幼稚園・保育園・小学校等86か所4,125名に対し、実践的な交通安全教育及び防犯教室を実施。 高齢者に対しては、老人ホームで30回1,764名に実施。	/	関係機関団体と連携し、実践的な安全教室及び防犯教室を継続的に実施していく。	富津警察署	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事業	事 業 内 容	平成 21 年度 の 状 況	平成 26 年度 目 標	平成 26 年度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
V	2	153	暴走族対策	警察による取締り強化や再発防止の指導のほか、暴走族追放に関する広報を行う。	実施	継続	暴走族の目立った活動は見られなかったが、少年補導等の推進により暴走行為の未然防止に努めた。		パトカー等により見せる警戒活動やコンビニ等にたむろする少年補導を徹底し、暴走行為の未然防止、再発防止に努める。	富津警察署	
V	2	154	幼児・児童・生徒への不審者対策	保育所（園）・幼稚園・学校では引き続き注意を払うとともに、警察や地域との連携を強化する。また、イフ推進員による小中学校の登下校時の見守りや、広報無線での呼びかけにより、子ども達が安全に帰宅できる環境を作る。	実施	継続	防災無線での取組み、要保護児童対策地域協議会を通しての警察との連携強化、学校教育課と不審者情報の共有を図った。また、富津市安全安心メールの周知を行った。		富津市安全安心メールを中心に今後も情報の発信を行っていく。	子育て支援課	
V	2	155	保育所施設の環境整備事業	<平成23年度新規事業> 子どもの安全性・快適性から現状の整備水準を確保するため、計画的に施設の維持保全及び環境整備を実施する。	平成23年度実績 耐震診断 1施設 放射線量測定 8回	継続	保育所（園）付近での放射線量測定を毎月実施した。		保育所での子どもの安全性を確保するため、施設の維持保全及び環境整備を引き続き実施していく。 放射線量測定も引き続き実施していく。	子育て支援課	
V	2	156	保育所における防災体制の強化	<平成23年度新規事業> 災害時における安全な避難の実施や適切な応急体制が実施できるよう、体制の強化や設備の充実を図る。	平成23年度実績 災害用発電機、石油ストーブを設置し、避難用乳母車を配置した。また、保育所が行っている避難訓練の見直しを行った。	継続	保育所施設の修繕、各保育所での避難訓練を実施した。		各保育所での避難訓練や近隣小中高校と連携した訓練も実施していく。	子育て支援課	
V	2	157	防災体制の整備	<平成23年度新規事業> 大規模災害時において、迅速かつ適切な応急対策が実施できるよう情報収集及び伝達方法の充実・強化に努める。	平成23年度実績 安心安全メールの配信開始 防災行政無線施設整備1か所 自主防災訓練組織設立促進 1組織 防災備蓄購入事業	継続	安全安心メール配信 270件 自主防災組織設立1組織 防災備蓄品購入（非常食・保存水・災害用トイレ・アルミシート）		情報伝達手段の整備は計画通りに行われている。 今後は保護者の防災に対する主体的な行動を促す取組みを実施していく。	防災課	
V	3	158	男女共同参画関連施策の推進	市男女共同参画計画に基づく各種施策を推進する。	実施	継続	小中学生を対象に男女共同参画に係る図画・ポスター展を行い、男女共同参画意識の醸成を図った。 審議会において、今後の重点取組について意見を聴いた。		市独自のセミナー等を行う財源の確保が困難であるが、外部の支援事業等の活用を図り、継続的な情報発信に努める。	企画政策課	

【後期計画評価】・・・A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推進 事業	事業 内容	平成 21 年度 の 状況	平成 26 年度 目 標	平成 26 年度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 後 期 の 計 画 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
V	3	159	両立支援制度の普及	広報等を通じて、市民に育児休業をはじめとする両立支援に関する各種制度の普及を図る。	未実施	実施	11月の「家族の日」「家族の週間」に合わせてホームページでの広報を行った。	B	11月の「家族の日」「家族の週間」に合わせてホームページでの広報や適時制度変更があった場合、広報を行っていく。	子育て支援課	
V	3	160	行政組織内の両立支援制度の普及	小学校就学前の子どものいる職員に対する超過勤務の縮減、男女共に育児休業を取得しやすい環境の整備などを進める。	育児休業取得者 5名 育児短時間勤務取得者 2名 子の看護休暇取得者 1名	継続	育児休業取得者 13名 部分休業取得者 3名 子の看護休暇取得者 2名		育児休業及び子の看護休暇等については、当初より取得者は増加しており、取得しやすい傾向にあるため、目標は達成できていると考える。今後も小学校就学前の子どものいる職員に対する超過勤務の縮減などを含め、男女共に育児休業を取得しやすい環境の整備などを積極的に進めるものとする。	行政管理課	
V	3	161	子育て情報誌の制作	子育て家庭のライフサイクルに応じた情報と、子育てを支援する市民に必要な情報を網羅した、子育てに関する総合情報誌を制作する。また、ホームページを利用した子育てに関する情報提供を充実させる。	未実施	実施	子育て応援サイト「イクトモ」を活用した情報提供を行った。	A	子育て支援課窓口で配布している子育て支援ガイドや子育て応援サイト「イクトモ」を活用し、子育て情報提供の充実を図っていく。	子育て支援課	
V	4	162	母子・父子自立支援員事業	母子家庭等への指導・支援や母子寡婦福祉資金の相談を受けるため、市の担当窓口に通2日、配置する。	母子自立支援員 1人配置	継続	平成26年10月から法律の改正に伴い、母子・父子自立支援員と名称変更をした。支援員が週2日出勤し、母子家庭等の相談に対応した。相談件数 73件		電話相談、面談、家庭訪問により、家庭支援を継続していく。	子育て支援課	
V	4	163	保育所入所の際での優先的入所	単独世帯の母子家庭については、優先的に保育所入所の承諾を行う。また、課税状況により保育料の減免措置の活用を図る。	実施	継続	母子等単独世帯保育料免除世帯 45世帯		子ども・子育て支援新制度において、新たな保育の必要性の認定及び保育料の基準により実施していく。	子育て支援課	
V	4	164	ひとり親家庭等医療費の助成（Ⅱ-7-86 再掲）	母子家庭・父子家庭の母（父）及び子どもに対して医療費の一部を助成する。	実施	継続	受給資格者数 897名 （内父子家庭等 28名） 受給者数 191名 助成実績 1,235件		県の制度に対応していく。	子育て支援課	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

富津市次世代育成支援行動計画個別事業実績一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事業	事 業 内 容	平 成 21 年 度 の 状 況	平 成 26 年 度 目 標	平 成 26 年 度 実 績 見 込 み	後 期 計 画 評 価	今 後 の 計 画 方 向 の 性 評 価 及 び	担 当 部 署	関 係 機 関
V	4	165	母子・父子・寡婦福祉 資金貸付 (II-7-87 再掲)	母子家庭・寡婦の福祉向上のための資金を貸付ける。	実施	継続	平成26年10月から対象が父子にも拡大された。 君津健康福祉センター 1件 子育て支援課 相談には来ているが、貸付申請には至っていない。	/	子育て支援課 相談を受け、申請可能であれば君津健康福祉センターへ円滑な引き継ぎを行っていく。	君津健康福祉 センター 子育て支援課	
V	4	166	「母子家庭及び寡婦自立促進計画」の策定	母子家庭及び寡婦の自立支援計画を計画的に行うための基本計画を策定する。	未策定	策定	未着手	C	多様な事業が財政面の問題もあり実施できないため、実施できる事業について確実に実行していく。	子育て支援課	

【後期計画評価】…A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、D「事業の中止」

4 前期・後期の重点施策のまとめ

前期・後期計画を通して4つの重点施策を定め、取り組んでまいりました。

重点施策ごとのまとめは、次のとおりです。

重点1：手をつなぐって、いいじゃないか！（連携）

妊娠期から思春期にかけて子どもの成長と子育て家庭を支援するにあたって、家庭、市民、ボランティア、自治会、保育所（園）・幼稚園、小・中・高校、企業、保健・医療・福祉機関、市・県・警察など公的機関を含めて、ケース毎に効果的な支援につながるように人と組織が柔軟に連絡を取り合い、上下関係のない対等な連携体制の構築をします。

すでに行われているボランティア団体やNPO 同士の連携、幼稚園・保育所（園）・小学校の連携など、さまざまな連携を強化するとともに、具体的にはケース毎に適宜検討し、連携体制を充実していきます。

⇒要保護児童対策地域協議会を中心に、地域において児童と接する機会のある関係機関等と連携を図るため、年1回の関係機関の代表者で構成される代表者会議及びケースに関連がある機関との実務者会議を年6回開催しております。

また、特別支援教育連携協議会運営事業を通し、特別支援教育推進チームによる情報の共有化、小学校への巡回訪問の際に保育所（園）の保育士も同行し、連携を図っています。今後も関係機関との連携強化に努めていきます。

重点2：続くって、いいじゃないか！（継続）

生活習慣の改善、発達障害児や障害児への支援など、支援の連続性と継続性がより重要になるケースがあります。こうしたケースにあっては、対象者の成長過程と支援経過を踏まえた上で、支援の連続性と継続性が担保される体制を構築します。

支援組織内の個人情報管理体制や連携組織内における情報共有、個別ケースの引き継ぎ体制を充実するとともに、具体的にはケース毎に適宜検討し、連続した支援を実施していきます。

⇒療育等支援事業による就学支援ケース検討会議を設け、支援が必要な児童に対する就学時の引き継ぎを行っています。また、個別に関係者によるケース検討会議を設け、各機関との情報共有、支援の方法を検討しております。

今後も関係機関との情報交換を密に行い、ケースの対応には、情報の共有化や共通認識をもち、よりよい支援の方法を検討し、ケース対応を実施していきます。

重点3：表に出るいいじゃないか！（人材活用）

次世代育成を応援する意欲と経験を持った市民のみなさまが活躍できる機会を地域や関係団体と連携しながら創出していきます。

また、だれでも気軽に自分の空いた時間で活動できるようボランティアの活用、意欲や技能を養成する生涯学習の活性化、ボランティア団体やNPOの活用など、市民パワーが前面にできるような取り組みを、少しずつでも着実に進めていきます。

⇒子育て応援サポーターによる保育ボランティアを実施してきましたが、十分に組み合わせていない状況となっています。

今後は地域との連携が図れる場の創設や子育て応援ボランティアの育成等に取り組んでまいります。

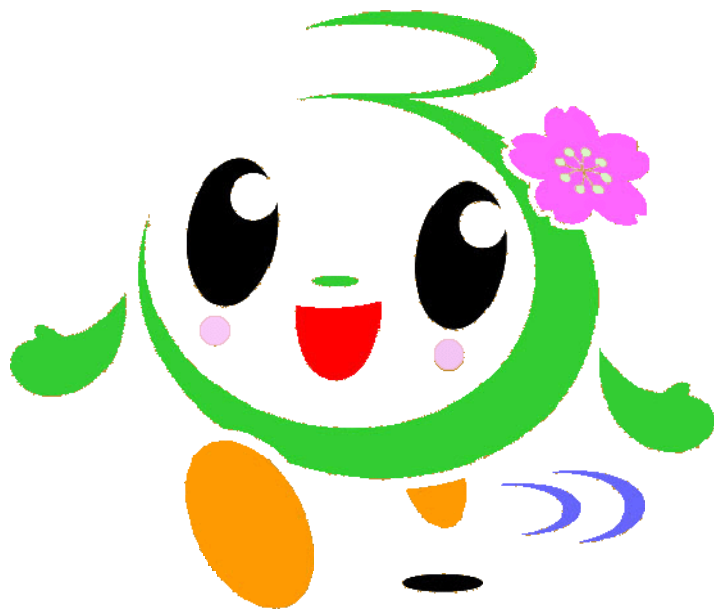
重点4：みんなが知っているって、いいじゃないか！（情報提供）

市民のパワフルな発想と行動（エンパワーメント）を促すためには、必要な時に必要な情報がすぐに届くこと、つまり“みんなが知っている”ことが重要になります。

それは行政に限った情報だけではありません。最新情報を提供するため、ホームページの活用を進めるとともに、市民や関係機関との協議を適時開催しながら、市民共同参画の実現を一步ずつ進めていきます。

⇒子育て支援課窓口で配布している子育て支援ガイドの作成、福祉・国保・介護ガイドブックの更新、また、子育て応援サイト「イクトモ」の開設により、子育て情報の提供について推進してきました。

今後も情報誌やサイトの更新を充実させ、更なる推進を図っていきます。



富津市次世代育成支援行動計画（後期）

～いいじゃないか！ふっつ～

報告書

平成27年3月

■編集・発行 富津市 健康福祉部子育て支援課
